

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年1月12日

協議会名: 釧路市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
阿寒バス(株)	【系統名】 イオン高専線 【運行区間】 イオン昭和店～大楽毛1丁目～高専前	バス待合室に設置しているデジタルサイネージや市ホームページ等による情報発信及びキャッシュレス決済の導入などにより、利便性の向上及び利用促進に努めている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 目標: 収支率35%/年 コロナ禍で利用者数が想定を下回ったこと等により、収支率は30.29%/年であったが、目標値に対して86.54%の達成率であったため、一定程度達成できたと評価できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設等と連携した周知、PRを強化する。 ・町内会や老人クラブと連携した周知、PRを強化する。 ・まちづくりや利用実態と連動した運行内容とする。 ・アンケート結果などから、必要に応じ運行経路や運行時間、予約方法などの見直しを検討する。 ・市ホームページや広報紙などを活用した情報発信、また、待合施設やバス停へのチラシ掲示などにより、利便性の向上及び利用促進に努める。 ・運賃のキャッシュレス決済やバスロケーションシステムなど、既存の利便性向上を図る取り組みの周知を強化する。
	【系統名】 イオン鶴野線 【運行区間】 イオン昭和店～鳥取大通9丁目～ニュータウン入口	バス待合室に設置しているデジタルサイネージや市ホームページ等による情報発信及びキャッシュレス決済の導入などにより、利便性の向上及び利用促進に努めている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 目標: 収支率50%/年 収支率は61.19%/年であり、事業が計画に位置づけられた目標を達成した。	
	【系統名】 イオンリフレ線(鶴野経由) 【運行区間】 イオン昭和店～鶴野小学校～山花温泉リフレ	バス待合室に設置しているデジタルサイネージや市ホームページ等による情報発信及びキャッシュレス決済の導入などにより、利便性の向上及び利用促進に努めている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 目標: 収支率35%/年 コロナ禍で利用者数が想定を下回ったこと等により、収支率は27.11%/年であったが、目標値に対して77.46%の達成率であったため、一定程度達成できたと評価できる。	
	【系統名】 イオンリフレ線(大楽毛経由) 【運行区間】 イオン昭和店～星が浦大通4丁目～山花温泉リフレ	バス待合室に設置しているデジタルサイネージや市ホームページ等による情報発信及びキャッシュレス決済の導入などにより、利便性の向上及び利用促進に努めている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 目標: 収支率35%/年 コロナ禍で利用者数が想定を下回ったこと等により、収支率は14.66%/年であった。	

くしろバス(株)	【系統名】 循環バスぐるっと 【運行区間】 イオン昭和店～スーパーアーク ス鳥取大通店～イオン昭和店	バス待合室に設置しているデジタルサイネージや市ホームページ等による情報発信、キャッシュレス決済の導入、バス停やバス待合室への運行経路が分かるチラシ設置などにより、利便性の向上及び利用促進に努めている。	A	計画通り事業は適切に実施された。	目標: 収支率45%/年
					C コロナ禍で利用者数が想定を下回ったこと等により、収支率は16.97%/年であった。
(有)阿寒観光ハイヤー	【系統名】 仁々志別線 【運行区間】 48線～仁々志別、共和地区～阿寒診療所	市ホームページ等による情報発信や乗降場所の追加などにより、利便性の向上及び利用促進に努めている。	A	計画通り事業は適切に実施された。	目標: 運行経路や行き先に対する満足度16.1%以上
					A 満足度は28.6%であり、事業が計画に位置づけられた目標を達成した。
まりも交通(株)	【系統名】 桂恋三津浦線 【運行区間】 三津浦～桂恋、三津浦地区～市立病院	市ホームページ等による情報発信やキャッシュレス決済の導入などにより、利用促進に努めている。	A	計画通り事業は適切に実施された。	目標: 運行経路や行き先に対する満足度16.1%以上
					B 満足度は0%であったが、不満足も0%であったため、昨年度の状況と比べて満足度は改善傾向にあると評価できる。
釧路市(有)音別ハイヤー委託)	【系統名】 音別線(霧里・茶安別) 【運行区間】 茶安別～中音別、上音別、二俣、霧里、茶安別、川西地区～音別駅	市ホームページ等による情報発信や乗降場所の追加などにより、利便性の向上及び利用促進に努めている。	A	計画通り事業は適切に実施された。	目標: 運行経路や行き先に対する満足度16.1%以上
	A 満足度は92.86%であり、事業が計画に位置づけられた目標を達成した。				
(有)阿寒観光ハイヤー	【系統名】 音別線(尺別・直別) 【運行区間】 直別～尺別、海光～音別駅	市ホームページ等による情報発信や乗降場所の追加などにより、利便性の向上及び利用促進に努めている。	A	計画通り事業は適切に実施された。	目標: 運行経路や行き先に対する満足度16.1%以上
	A 満足度は92.86%であり、事業が計画に位置づけられた目標を達成した。				
(有)阿寒観光ハイヤー	【系統名】 布伏内線 【運行区間】 阿寒診療所～布伏内地区～阿寒診療所	市ホームページ等による情報発信により、利用促進に努めている。	A	計画通り事業は適切に実施された。	目標: 年間利用者数1,400人以上
					C 年間利用者数は538人/年であり、事業計画に位置付けられた目標を達成することができなかった。